



インフルエンサーを活用して地方の魅力を発信！

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 小藏崎 誓哉 (宮崎県派遣)

クレアソウル事務所では、韓国国内における日本の地域資源への理解促進と韓国人観光客の誘致を目的として、韓国人インフルエンサーを日本各地へ招聘（しょうへい）し、その地域の魅力を SNS で発信する事業を実施しています。2025 年度は、青森県、兵庫県、和歌山県、三重県の 4 県を訪問しました。

青森県取材

青森県での撮影は、2025 年 8 月 30 日から 9 月 1 日にかけて、韓国人 YouTuber の「jungseworld」さんに八戸市、十和田市、三沢市、青森市を訪問していただき、青森県有数の観光スポットを巡りました。

八戸市では、種差海岸エリアの観光拠点や雄大な海岸景観、葦毛崎展望台からの眺望をはじめ、蕪嶋神社やみろく横丁、館鼻岸壁朝市な



種差海岸取材の様子

ど、自然景観から食・市場文化まで、八戸ならではの多彩な魅力取材しました。

十和田市では、「OIRASE BEER（奥入瀬ビール）」を訪れ、奥入瀬の自然を感じさせるクラフトビールの製造背景や味わいの特徴を体験取材し、四季折々の美しい景観が楽しめる「奥入瀬渓流」では、清流と苔むした岩々が織りなす幻想的な風景を散策し、自然の豊かさ癒やしの魅力を体験取材しました。

その後、三沢市の「青森屋 by 星野リゾート」を訪問し、青森の文化や祭りを体感できる館内演出や、滞在那ものが旅の目的となるリゾートの魅力取材しました。

青森市内では、「青森県観光物産館アスパム」の展望台から市街地と陸奥湾を一望し、街並みと海が織りなす景観の魅力を発信するとともに、「ねぶたの家 ワ・ラッセ」では、迫力あるねぶたの展示や制作の背景を通じて、青森が誇る伝統文化の魅力を撮影しました。

青森県は韓国からの直行便が就航しており、県としても、今後、若年層の集客をより一層促進する取り組みを進めていることから、今回制作した動画を活用し、若年層の集客施策に役立てていただきたいと考えています。

兵庫県取材

兵庫県での撮影は、2025 年 11 月 1 日から 3 日にかけて、同じく韓国人 YouTuber の「jungseworld」さんに淡路市、明石市、神戸市を訪問していただきました。

淡路市では、自然とエンターテインメントが融合した施設「ニジゲンノモリ」取材し、体験型観光施設としての魅力を体験取材しました。



淡路夢舞台取材の様子

続いて、世界的建築家・安藤忠雄氏がデザインした複合建築物として知られる「淡路夢舞台」を訪れ、建築美と瀬戸内海の景観が調和した印象的な空間を撮影しました。

明石市では、魚の棚商店街を訪れ、地元で親しまれる明石焼きや活気あふれる市場の雰囲気取材しました。また、酒蔵「神戸酒心館」では、日本酒の飲み比べを体験取材しました。地域の伝統的な酒造りの技術や文化を受け、街の魅力を五感で感じられる内容でした。

神戸市では、劇場型アクアリウム「アトア átoa」や

メリケンパークを訪れ、海と都市が調和するウォーターフロントの景観を撮影しました。また、神戸居留地や北野異人館街など異国情緒あふれる街並みを散策・撮影し、街歩きやショッピング、カフェ巡りなどを通じて感じられる神戸ならではの歴史・食・暮らしの雰囲気を体験取材しました。

兵庫県は韓国からの定期チャーター便が就航しており、2025年8月には、首都ソウルで知事が観光プロモーションを実施するなど、積極的にインバウンド施策を展開しています。ソウル事務所としても、こうした自治体の取り組みに連動し、当該事業を通じてインバウンドの促進を支援していきたいと考えています。

和歌山県・三重県取材

和歌山県・三重県の撮影は、2025年11月17日から21日にかけて、日韓夫婦 YouTuber の「ミニマル遊牧民」さんに訪問していただきました。

近年、コロナ禍を経て韓国から日本各地への直行便が再開・新規就航したことに伴い、往路と復路で異なる空港を利用する広域的な観光ルートの設定が容易になっています。

また、当事務所が2024年に実施した韓国国民意識調査^(注)では、日本旅行の滞在期間が4～5日程度の訪日客が約7割を占め、3日以内の回答が多かった2021年と比較して滞在期間が伸びている結果となりました。

このため、今年度からは一県のみでの取り組みに加え、往路・復路で異なる空港を活用した複数県にまたがる広域ルートの利用促進を目的として、和歌山県と三重県を周遊する広域型観光モデルの魅力を発信しました。

和歌山県と三重県の間は、鉄道で海岸線や山間部の景色を楽しみながら広域周遊できる点が大きな特長で、移動そのものが旅の体験となる魅力あふれる周遊ルートです。

和歌山県では、エメラルドグリーン的大海と白砂の浜が美しい「白良浜」、熊野水軍が船を隠したという伝説が残る地下36メートルの洞窟「三段壁洞窟」、そして日本三名瀑の1つとして知られる「那智の滝」などを取材しました。

また、三重県では、ゴルフツーリズムを軸に、宿泊型リゾートや志摩半島南部で英虞湾を一望できる「横山展望台」、伊勢神宮内宮門前町の中ほどにある「おかげ横

丁」、さらに日本の水族館で唯一ラッコを見ることができる「鳥羽水族館」など、多彩な観光スポットを撮影しました。

往路・復路で異なる空港を利用しながら、和歌山県と三重県をまたぐ広域的な観光が実現可能であることを発信したことで、初めて日本を訪れる韓国人観光客はもちろん、日本旅行に慣れたリピーター層にとっても、移動のしやすさと観光体験の幅広さを兼ね備えた魅力的なモデルルートとして訴求できるようになっています。

終わりに

クレアソウル事務所では、韓国人観光客による日本の地方都市への需要の高まりを踏まえ、今後も複数の都道府県にまたがる地域観光 PR 動画を制作し、インバウンドの促進に取り組んでまいります。

2026年度も引き続き当該事業を実施予定であり、複数自治体を対象とした広域周遊コースでの取材を検討しています。取材にご協力いただける自治体につきましては、今後募集を行う予定ですので、関心のある自治体の皆さまは、近隣の自治体とともにぜひご検討ください。

なお、今回の取材動画については、クレアソウル事務所の公式 WEB サイト (https://www.clair.or.kr/appeal/youtuber/youtuber_view.asp) から閲覧が可能です。これまで取材を行った地域も掲載しておりますので、是非ご覧ください。

●参考文献

(注) クレアソウル事務所「日本に対する韓国国民の意識調査レポート（3次）」



三段壁洞窟取材の様子



鳥羽水族館取材の様子